つるがしま市議会だより　第197号　発行日／令和3年(2021年)8月1日

市民・団体インタビュー

地域支え合い協議会 × 市議会

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

地域が抱える課題を地域で解決する共助社会を作ることを目的に8つの地域で設立されている地域支え合い協議会。

令和3年4月19日(月)に各地域支え合い協議会の皆様にインタビューしました。

<インタビューに参加された地域支え合い協議会の方々>

特定非営利活動法人　鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会　細貝光義さん、富士見地区地域支え合い協議会　田中秀世さん、サザン地域支え合い協議会　杉原行雄さん、内野泰司さん、杉下地域支え合い協議会　眞保健一さん、西部地域支え合い協議会　大場一石さん、つるがしま中央地域支え合い協議会　殿塚渉さん、堀口隆司さん、北地域支え合い協議会　髙橋松子さん、すねおり地域支え合い協議会　町田尚司さん　※(設立順)

●地域支え合い協議会とは

小学校区域程度の地域で、日常生活の中で人と人が支え合い助け合える関係づくりと、地域の課題を地域で解決していく仕組みづくりを目的としています。

自治会、PTAなどの地域団体やNPO法人などが連携・協力して運営しています。

●活動していて思うところは

支え合い活動はコロナ禍での三密が避けられません。一方、高齢化により助け合い隊の活動などは、今後ますます重要になってきます。議員も一緒に活動を進めてほしいですね。

●中学生が活動に参加していると聞きました

サザン地域支え合い協議会の避難所訓練に中学生ボランティアが50人ほど参加しています。中学生活3年間でほぼ全員が体験したと聞いています。鶴二地域支え合い協議会では、学校側との関係づくりから始め、車椅子体験などを実施しています。

●10年後の鶴ヶ島のためには

行政と地域支え合い協議会が一体となって活動できるような体制が必要です。

また、学校再編や諸政策などスピード感を持って進めてほしいです。教育を充実したらいいと思います。

善能寺駐車場で開催している朝市

●議会をどう見ていますか

議会活動は市民生活に影響するのに距離感があります。市民と議会の話し合いの場を設け、一緒に政策づくりにつなげる仕組みがあればいいと思います。

また、議員ができたことについて可視化したほうがいいと思います。

●政治に関心を持ってもらうには

議員が学校に出向いて、子どもたちに主権者教育をしたらどうか。

これからは、投票所に行けない高齢者が増えて投票率が低下することも考えられます。

インターネット投票も視野に入れるべきです。

市議会は市民の声を直接聞きに出かけます！

編集後記

このたび議会報編集委員会は、広聴活動の充実を目指して広報広聴委員会になりました。

議会だよりの編集をベースに、議会報告会やウェブサイト等も運営します。

これまでのインタビューの経験を生かして、より身近な議会になるよう工夫を重ねていきます。（大）

広報広聴委員会

前列右から小林委員、内野副委員長、大野委員長、石塚委員
後列右から杉田委員、松尾委員、持田委員、太田委員

編集／広報広聴委員会　発行／鶴ヶ島市議会
☎049（271）1111　FAX／049（271）1196